

令和6年度 校長より ①

令和6年度においても、大船高校の校長を務めさせていただくこととなりました幸田です。今年度で4年目となります。どうぞよろしくお願いいたします。

この3年間は、コロナ禍においても40年に渡る本校の古き良き校風と伝統が後進へ継承されること、また、県立高校改革実施計画Ⅱ期計画に基づいて特色ある学校づくりが推進されること等を本校の学校目標の掲げ、その実現と個々の課題の解決、そのための人材育成と環境整備等に取り組んでまいりました。お陰様でその成果が少しずつではありますが、生徒の学力向上、希望進路の確実な実現、スポーツ・文化活動等の充実、豊かな人間関係の形成、民主的な自治意識の醸成などに、また、中学生やその保護者における本校の教育活動の理解などに結びついてきたと感じています。そうした取組みと成果が保護者や地域の方々に御理解いただけるようになったことで、本校に対する信頼の確立にも結び付いてきたと思います。

さて、令和6年度ですが、県立高校改革実施計画Ⅲ期の4年間でスタートします。本校は、Ⅲ期における指定校や課程・学科等の改編の対象とはなりませんので、本校でⅡ期までに行っていた教育活動を踏まえたうえで、Ⅲ期で全校が対象となっている取組みを推進していくこととなります。本校では、Ⅱ期で行っていた「スクール・ポリシー」を変更することなくⅢ期へ引継ぎ、3年間の教育活動を通じてそれを着実に実現させるように取り組むこととしました。また、Ⅲ期で全校が取り組むものに、改革1柱『質の高い教育の充実』には、「学習指導要領に対応した教育課程の運用・改善」「カリキュラム・マネジメント」「英語資格・検定試験の活用等による英語力の向上」などが、改革2柱『学校経営力の向上』には、「スクール・ポリシーに基づく教育活動の推進」「魅力や特色ある取組についての積極的な情報発信」「コミュニティ・スクールをいかした学校運営の推進」「老朽化対策工事の実施」などが示されています。本校では、令和5年度の段階で、Ⅲ期における取組みを「県立高校改革実施計画Ⅲ期（令和6～9年度）に向けた特色ある取組み～指定校を求めることのない教育活動の推進～」として整理し、Ⅲ期での教育活動をスタートさせる準備を進めてまいりました。

「教育課程の運用と改善点の整理」「進路実現等のためのカリキュラム・マネジメント」「英語資格・検定試験を有効活用した英語力の向上計画」「スクール・ポリシー実現のための方策」「HP等での広報活動の充実と改善策」「コミュニティ・スクールの意見をいかした学校運営の推進と老朽化対策工事の実施」にはすでに着手してきています。本年度においては、「働き方改革」を踏まえた効率的・効果的な学校運営を前提として、より一層充実した取組みが推進できるように、校長としてリーダーシップを発揮する所存であります。引き続き、皆様にはご指導ご鞭撻をいただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

令和6年4月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆